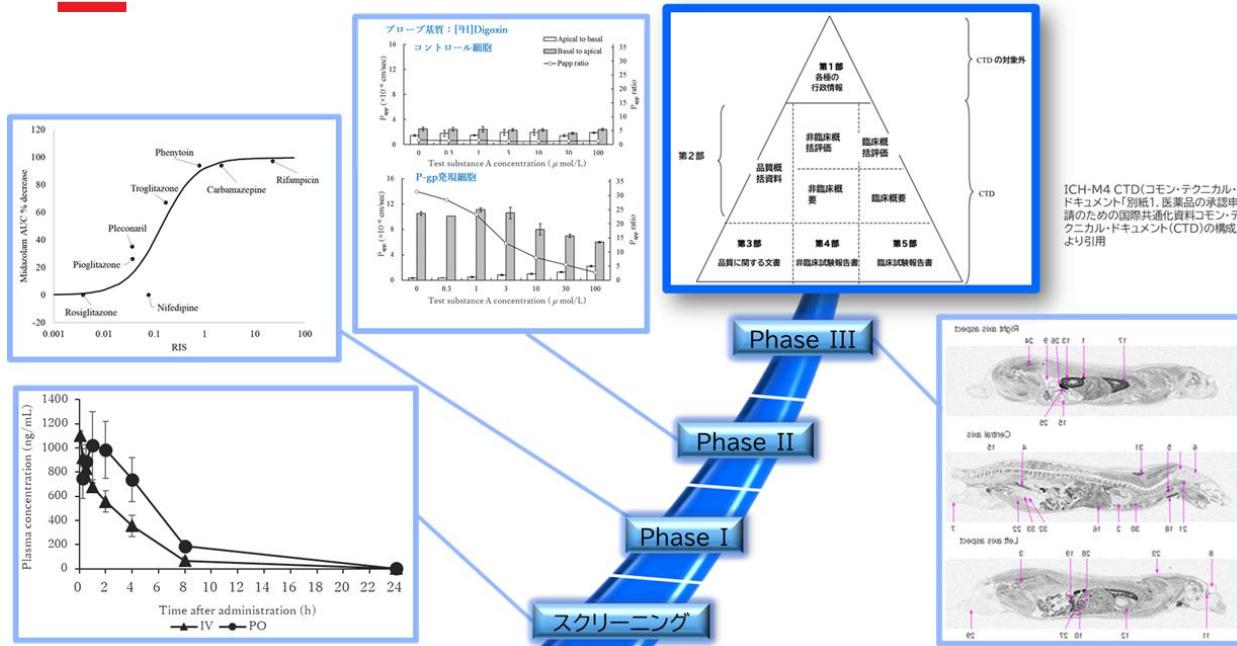


医薬品承認申請に至るまでの薬物動態試験



東北大学は、企業への創薬活動拠点の提供のみならず、本学研究者の“知”や大学施設の提供による共創型創薬の実現を目指しています。創薬研究は、研究成果を起点にするものの、アカデミア研究とは目指すゴールが異なります。その過程で必要となる評価項目にも違いがあります。“東北大学Drug Discovery Platform”では、創薬研究に特有な事柄に焦点をあて、各分野のエキスパートの先生方からご紹介いただきます。今回は、薬物動態試験について、その必要性や実施のタイミングなどをご紹介します。

日時
&会場

2026年2月17日（火）16:00-17:00
場所：オンライン（ZOOM webinar）

演題

**医薬品開発に必要とされる薬物動態試験
～CTDを紐解きながら、製薬企業が求めるデータを知ろう！～**

発表者

河村 章生 積水メディカル株式会社 アドバイザー 薬学博士

事前
登録制

https://zoom.us/webinar/register/WN_y5RVwDmPQdKBWXkAD7sOOg
から申込をお願いいたします。
※参加費は無料です。

またはQRコードをご確認下さい▶



受付

お申込み多数の場合、アクセス数との関係でご参加いただけない場合がございます。
あらかじめご了承ください。

**主催：東北大学創薬戦略推進機構
東北大学オープンイノベーション事業戦略機構**



医薬品開発に必要とされる薬物動態試験

～CTDを紐解きながら、製薬企業が求めるデータを知ろう！～

【紹介内容】

今回は、既承認薬のCTD*を紐解きながら、薬物動態試験がなぜ必要なのかを深く掘り下げ解説していきます。

この解説を通して、ライセンスアウトや共同開発候補の製薬企業が採否を決定する際に何を基本としているのか、その一端を垣間見てみませんか？本セミナーが皆様の研究活動の方向性を考える一助になればと思います。

* : Common Technical Documentの略、医薬品の承認申請のために作成される日米EU共通の国際共通化資料

【お知らせ】

積水メディカル社は、本学との包括提携により東北大学創薬工コシステム「共創の場」に参画しています。東北大学内に拠点を設置し、皆様からの非臨床試験に関する相談を受け付けています。ウェビナーの最後に、相談内容および拠点の滞在スケジュールについてもご紹介します。

コンテンツ

はじめに : 武田全弘
 東北大学 オープンイノベーション事業戦略機構 特任教授

講演 : 河村 章生

 積水メディカル株式会社 アドバイザー 薬学博士
 【その他】
 理化学研究所アドバイザー
 千寿製薬株式会社アドバイザー
 メディカルグローン非臨床担当

質疑応答 : 全員

お知らせ : 創薬相談内容、東北大学事務所滞在スケジュール
 積水メディカル株式会社 財満 剛

お問い合わせ

- 東北大学オープンイノベーション事業戦略機構
- 担当： 武田、大島
- Email : oi-event@grp.tohoku.ac.jp

主催 : 東北大学創薬戦略推進機構 (<https://ddr.tohoku.ac.jp/>)
東北大学オープンイノベーション事業戦略機構
(<https://oi.tohoku.ac.jp/>)